

社会福祉法人光友会 Light Friend Association

希望通信

ぎぼうつうしん

Index

- 芸術の秋を実感：第12回明大チャリティアート展見学… P1
- 利用者・家族会 …………… P3
- 医務室だより・健康診断で思ったこと …… P2
- 行事予定・編集後記 …………… P4



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003
TEL0466-48-4500

芸術の秋を実感



第12回明大チャリティアート展見学

アクティビティ 高島 義明



10月26日（水）、第12回明大チャリティアート展の見学に入居者3名が参加されました。毎年ルミネ藤沢6Fギャラリーで開催される展示会です。地元藤沢駅直結のギャラリーという恵まれた立地条件なので、多くの来場者があり、出展される方の意気込みもより強くなります。

見学された方には、美術プログラムで描き上げたご自身の絵を他の作品と見比べることのできる楽しいひと時でした。見学に参加された3名の方の作品名と当日いただいたコメントをご紹介します。

辻 昭雄さん：『花模様』を出展。「もう無理、クビ！（本人得意の冗談）」「いやいや、美術は卒業も引退もありませんから。（職員）。」「いやよ～（本人）。」

佐藤 幹雄さん：『十一面観音像』を出展。

ご自分の絵には目もくれず、一枚の人物像の絵をみつけて、「こういう上手い絵を描きたいんだけどサ、モデルいないかな？（本人）」「ご自分の絵はどうなんですか？（職員）」「いやあ～、これ、全然だめだよ（本人）。」

岩崎 正典さん：「タイトルが思い浮かばないので…。なんかいいの付けて下さい。」

自分の絵に自信がなさそうなことを言いながら、皆さん、次の作品に向けて意欲が出たようです。見学後はボランティアの猪股さんと、コーヒープレイク。「普段から皆さんが上手に描けるよう頑張っていることに、実は感心させられている。」とお褒めの言葉をいただきました。

来年も良い作品を期待しています。



医務室だより



寒い時期になるとやってくるのが、ノロウイルスやインフルエンザなどの流行性感染症です。感染症の原因、感染ルート、潜伏期間、症状の違い、有効な消毒方法を知ることによって予防、発症の早期発見につながります。

当施設へご来訪される方にもご協力をお願いします。

手を洗おう



1. 「手洗い・手指消毒」

洗って→ふいて→消毒

感染対策の基本で最も重要です。特に食事前、汚物などの処理後など行為前後に行うよう徹底しています。

今期より、ノータッチディスペンサー型の手洗い石鹸、手指消毒を導入しました。手で



インフルエンザ
予防接種風景→



触れることなく石鹸液や消毒液が吐出し、交差感染のリスクを回避します。出入り口や食堂、トイレなどに設置しました。



2. マスクなどの防護具の着用

自身を守り、病原体を伝播させない効果があります。

◎健康診断で思ったこと◎

湘南希望の郷入居者 高 橋 伸



先に採血や体重測定で思ったことについて、僕は、採血の注射は入院時代（2009年～2010年）、注射や点滴などいっぱい受けてきたし、慣れていたので、あまり痛みは感じられなかった。最初はびびるが、痛みは蚊に刺された程度であまり感じられなかった。ただ採血で嫌なのは自分の深紅色の血液を見ることだった。でもそれも健康の証だと思う。注射で泣いたことは、子供の時くらいで、ほとんどない。多分、中学生（三ツ境養護学校 中学部時代）くらいから泣かなくなった。

体重測定も最近太ったなあと思う。前は動いていたので45～47kg位、キープして

いて5kg位太りたい気持ちはあった。でも、車椅子生活になり、新陳代謝が悪くなり、腹が出張ってきた。今では10年前より5kgオーバーの10kg位（約55kg?）太ってしまい、逆に痩せたい気持ちに変わってしまったという今日この頃で、今の食生活ではちょっとダイエットは難しいのが現状だ。

その他の健康診断で思ったことは、本番の時、もっと受けるべきではないかと思う。尿検査・血圧・聴診器・音を聴き取れるかをやって終わり。それで本番と言えるのが疑問だ。もっと問診・身長・眼科検診など受けるべきだと思う。身長だって寝ながらでもできそう。

この先、5年先、10年先の僕を想像すると今の健康をキープできるのか、または癌とかの病気となって、ここを離れて再び入院生活に戻って、やがてはあの世逝きとなるのかは神のみぞ知る世界で分からない。

少なくとも4年後の東京五輪・パラリンピックまでは元気にいたいと思う。気楽に生きて、東京五輪・パラリンピックをTVで見よう。

◆せせらぎ会だより◆

12月(師走)。光陰は矢の如く。
禍福は糾える縄の如し。



春夏秋冬、1年(365日)。毎年、時の流れを計る物差しが、速く(短く)なっている様に感じられる。これは、やはり自分の齢(よわい)の成せる技なのでしょうか。

科学技術は日進月歩ならぬ、分進秒歩で進歩する時代。反面、相も変わらず政治・経済は一寸先は闇。昨日天国、今日は奈落の底を見る現実。利害最優先の利己主義が幅を利かせ、予測不能な有り得へん世界情勢が、今年は至る所で噴出している。象徴的なのが、ドナルド・トランプ次期米国大統領の登壇である。人種差別、性差別など、あらゆる暴言を公言してきた人物が、米国第一主義を掲げて、

国を二分する選挙戦で勝利した事実である。米国民もまた、貧富の格差是正という、社会病理の処方箋を、政治家ではなく、粗悪な言動だが実効性のある不動産王に委ねざるを得なかった所に、米国のみならず世界が抱える問題の深刻さが、ここでも浮き彫りにされた。世界中に波紋を広げた、トランプ・ショック。様々な憶測が乱れ飛ぶ情報社会。まずは頭を冷やし、現実を受け入れ英知を結集して、予断のない情報分析と、先手を打つ誠実な人間外交が求められている。

例年以上に、慌ただしい年の瀬になりました。

14日は、お楽しみクリスマス会。この1年、もう忘れかけた思い出や、決して忘却してはならない事件等々、悲喜こもごもがありました。私達の生活を、様々に御支援いただきました皆様、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

記・自治会(K.I)

◆湘南希望の郷 家族部会の皆さまへ◆

家族部会長 眞鍋 直規

秀麗の富士が青空に映える季節。朝晩寒くなってきましたが、お変わりありませんか。

10月29日には、今村隆正氏による「自然災害への備え」と題する特別講演会が開催されました。「普段から生き抜こうとする強い意志を持ち、リスクを常に意識すること。」が大事という強いメッセージがありました。

12月5日の家族部会定例会では、代金引き換えで第34回チャリティー・コンサートのお渡しする予定であります。

代議員の佐藤さんおよび眞鍋までお申し出ください。

旧年中はお世話になりました。皆さまが良い歳をお迎えになられますようお祈りしております。

<12月・1月の行事予定>

◇12月5日(月) 10:30 ~ 12:00

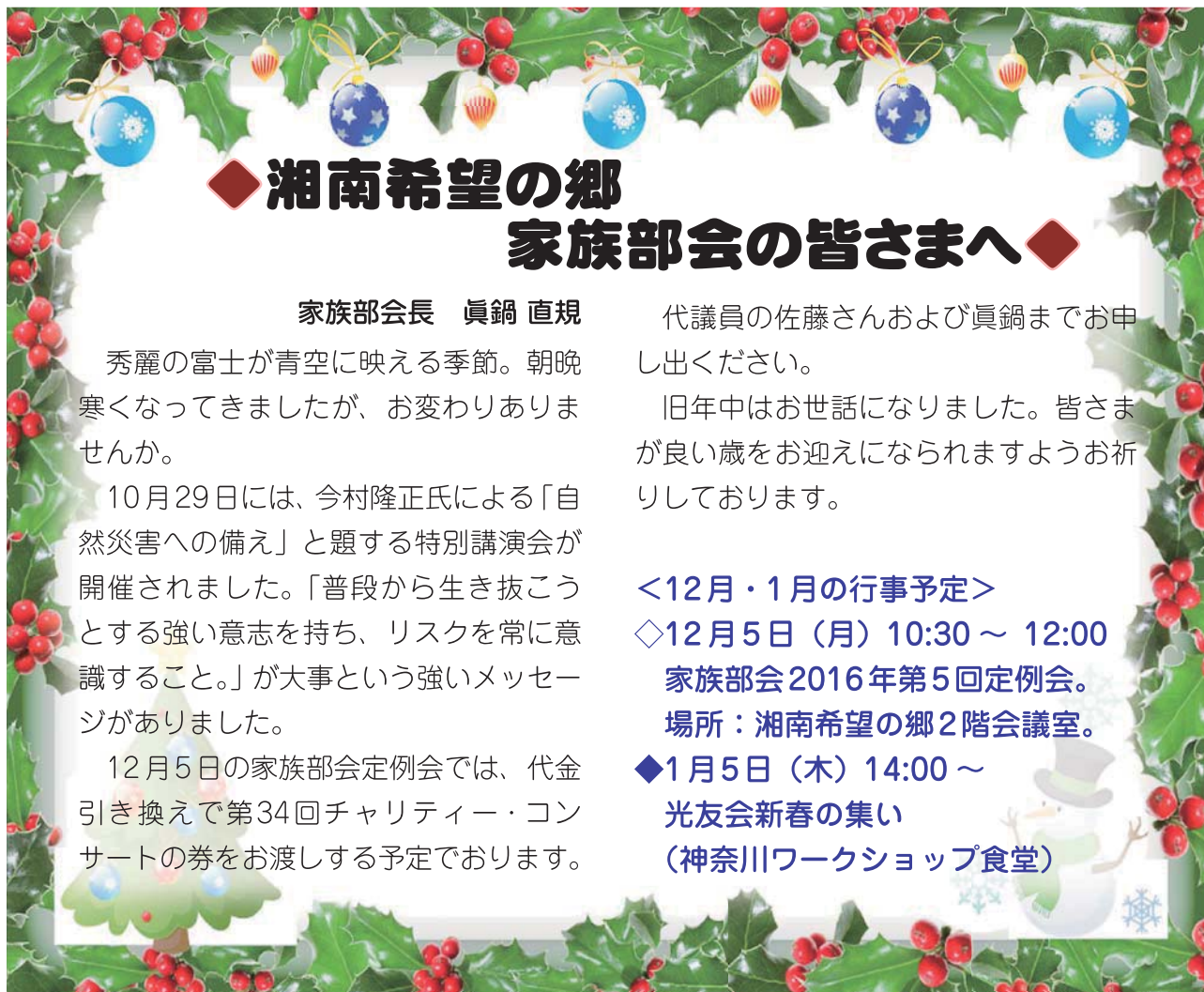
家族部会 2016年第5回定例会。

場所：湘南希望の郷2階会議室。

◆1月5日(木) 14:00 ~

光友会新春の集い

(神奈川ワークショップ食堂)



キレイキレイコンテスト経過報告

(東通りチーム)

先月号でお伝えしましたキレイキレイコンテストの経過報告です。各チームが入居者さんに居心地の良い空間で生活して欲しいという思いで、美化活動に取り組んでいます。

東通りは各居住棟への玄関口でもあるので、廊下のモップ掛けを中心に行いました。

又、ある利用者の方が「ベット下にリモコンを落としてしまったので、拾ってほしい」というので、のぞいてみると、そこでは大量のホコリを目の当たりにしました。普段あまり気にかける事がない場所や各居室のベッド下も重点的に清掃を行いました。



◆ 12月の予定 ◆

健康課より

湘南第一病院 長嶋 Dr 来診
4日(金) 13日(火)

三井眼科来診 6日(火)
藤沢病院 石井 Dr 来診 8日(木)
御所見病院 多田隈 Dr 来診
14日(水)

行事

クリスマス会 14日(水)
郷づくり委員会 20日(火)
住人生活会議 29日(木)

パソコン操作支援ボランティア募集

障がい者のためのパソコン操作支援ボランティアを募集いたします。パソコンの基本的な操作ができればどなたでも可能です。わかりやすく説明します。基本的に、肢体不自由・視覚障がいの方のパソコン操作を手助けしていただくものです。実施場所は湘南希望の郷(入所)・ケアセンター(通所)です。実施時間は毎火曜日 10:00~12:00 / 13:00~15:00 ですが、週2時間のみでもかまいません。

連絡先: 山崎・小中(湘南希望の郷)
TEL 0466(48)4500



◆ 辻 あきお 個展開催中! ◆

ただ今希望の郷食堂前廊下にて辻さんの個展を開催中です。作者紹介を辻さんにぜひご担当さんからしていただきます。

◆辻 昭雄さん◆ 皆さんご存知ないかと思いますが、大阪生まれの関西人なのです。

性格は、良く言えば、芯があり決めた事は決して曲げない男です。悪く言えば、頑固者の偏屈おじいちゃんです。いつもニコニコとしており、親和的で他入居者の方や職員にも気遣って頂ける心優しい人であり、演歌・暴れん坊将軍をこよなく愛する男です。



女性に弱いのがたまにきずですが、辻さんには逆にいつもお世話になっています。



編集後記

年が暮れる。今年の出来事。筆者がギターの伴奏者として多くのライブで関わってきた女性の夫が、3月22日ベルギー・ブリュッセルのテロで爆殺された。私はかける言葉をもてなかった。二人の女の子と妻、それから「失われし大地」という映画を残して亡くなったジル・ローランさんの作品は京都国際映画祭で上映されるなど反響をよんでいる。東京電力福島第一原発事故によって故郷喪失に向かわざるを得なくなったひとたちを描く作品は、来年早々に東京周辺でも上映予定。(旅の軽さ) T.S